



千八百七十八年三月一日刊行
ヘラルド新聞抄譯



549
519





七十八年三月一日

ヘラルド新聞抄譯

本紙幣ノ價值ノ浮沈低昂常ナキヲ致ス所以ノモノハ大
 ニ銀行紙幣發行ノ多寡ニ關ス然リト虫氏又洋銀ノ需ノ緩急ニ
 因テ之ヲ低昂セシムルヲアリ乃チ其需緩ナレハ紙幣ノ價ヲ毀
 傷スルヲナキ而已ナラス却テ之ヲ昂貴セシムルヲアリ或ハ又之
 ニ反シテ其需甚タ急ニシテ二者價格ノ權衡ヲ失スルニ至ラハ
 紙幣ノ墮落ハ又甚シカルヘシ吾曹嘗テ之ヲ道路ニ聞ケ今日本
 ニ於テ俄カニ四拾万弗乃至五拾万弗ノ銀貨ノ需アラシメハ劃
 然紙幣ノ價墮落シテ一割若クハ一割五分ノ割引ヲ免レスト鳴
 乎今時日本財勢ノ委蕭衰頽知ル可キ也
 故ニ聰明英敏ナル大蔵卿ハ今ヨリ財政ノ方向ヲ一轉シ以テ茲
 ニ國是ヲ確定セシムルハアラス因循姑息ノ計ハ今日ノ如キ紙幣
 ノ汎溢ヲ整理スルニ足ラス今若シ此ノ如クシテ十年間モ續々

大蔵省

政府ト銀行トヲシテ其発行絶チラシメ尚ホ且ツ歳入出ノ間ニ
痛痒ノ歎アラシメハ千八百八十年乃至千八百八十五年ノ後ニ
至リ日本理財ノ情勢果シテ又何等ノ衰運ヲ現出スルヤ知ル可
カラス吾曹窈カニ之ヲ日本ノ一商家ニ問ク其言曰ク我國ノ
諸港及ヒ内地通商ノ諸邑漸ク衰凋シテ通商ノ道振ハス之ヲ十
年前ノ景情ニ比較セハ概シテ日本國民ハ幾層ノ貧窶ニ沈ミタ
リト

吾曹ハ此言ノ真ナルヲ知ルト虽モ未タ之ヲ明晰ナラシムルニ
由ナシ然レモ日本商家ノ言ハ隔々皆然リ果シテ之ヲ実ナリト
セハ先ツ目下ノ賦稅ヲ緩フシ以テ道路ニ怨声ノ跡ヲ絶カルヘ
カラサルトノ議論ヲ癸セサルヲ得カルヘシ然リ而シテ今若シ
日本ニ一ノ理財ノ達人ヲ出シ其樞機握リ以テ之ヲ料理スル所
アラシメハ國民一般或ハ其都合宜シカルヘシ况ンヤ日本帝國

ニ主運隆盛ノ辭興スハキ源因許多アルニ於テヲヤ

吾曹低首シテ今時ノ情勢ヲ觀察スルニ今ノ租稅ヲ以テ十年前
ニ此民ニ課賦セシメハ能ク之ニ堪ユルノカアリシト虽モ現時
ニ至テ其力漸ク減耗シタルモノ、如シ加之貿易ノ推衝ハ依然
トシテ尚ホ此國ニ利アラス日ニ月ニ貨幣ヲ湮滅シ未タ一ノ利
アル新貿易ヲ開キタルトモ聞ス又物價漸ク昂昇シテ人民生
活ニ苦ミ將テ紙幣増發ノ極度ナキヲ訝疑スルニ至レリ要ス
ルニ今ノ勢ハ國家疲弊ノ途ニ進行スルノ勢ニシテ既ニ魯國ト
云ヒ澳國ト云ヒ伊國ト云ヒ或ハ西班牙ト云ヒ皆日本國ヲ信セ
サルニ至リシハ抑モ吾曹カ此望ミアル所ニ向テ其歎息ヲ發セ
サルヲ得ル所ナリ蓋シ信憑ハ國家ノ大事ナリ故ニ日本國ニ於
テモ亦素ヨリ其國信ヲ貴重シテ飽マテ之ヲ保護セサル可ラス
若シ夫レ一度ヒ之ヲ失ヘハ復令大ニ費ヤス所アリ、虽モ再ヒ

之ヲ得ルヲ極メテ難シ豈ニ之ヲ察セスレテ可ナラシヤ

日本政府カ正サニ某國立銀行ノ設立ヲ許可セシカ忽チ東京ノ
商家及ニ諸銀行ノ愚愼ヲ受クル所ナリタルモノ、如シ蓋シ
商家及ニ銀行者ハ現時ノ財勢付大ニ傷憫スル所アレハ也而
シテ其大蔵卿ハ此度ハ必スシモ國家ノ窘迫ニ趣クテ洞察マス
ンハアル可カラス試ニ見ヨ日本ノ財計ノ因テ出ツル所ハ皆之
ヲ歐洲ノ法制ニ取ル而已而シテ其方法ノ如キハ稍々異ナル所
アリト虽氏紙幣濫發ノ結果如何ニ至テハ其軌轍ヲ同フスル
明瞭火ヲ睹ル如シ

今吾曹ヲシテ日本ノ為ニ謀ラシメハ狡猾奴ノ巧言ヲ謝絶スル
ニ若クナシ而シテ此狡猾奴ハ何人ナルヤヲ知ラシメ要マハ曠
昔日本人民ノ耳目ヲ眩惑セシニ鍍金ノ指環ヲ以テシ之カ為ニ
此國ノ面目ヲ毀傷シ世ノ信憑ヲ失ハシメタル者即チ是ナリ



